

熱中症予防周知啓発活動を実施しました！

令和 6 年 6 月 3 日（月）

山口県において、昨年 1 年間で、約 800 人が熱中症の疑いで救急搬送され、また、職場においても全国の約 1 割を占める 3 人の死亡者が発生しました。7 月は梅雨明けを迎え、暑さ指数が急激に上昇し、熱中症が多く発生する時期であり、熱中症予防対策の取組の徹底が求められます。

このため、山口労働局は、全国安全週間が始まる前に、令和 6 年度熱中症予防キャンペーンの一環として、6 月 3 日（月）、新山口駅南北自由通路等において、熱中症予防の周知啓発活動を実施し、塩飴、うちわ、チラシ等を配布しました。

当日は、山口市消防本部（学生消防団）の皆様にご協力をいただいたほか、ちよるも応援にかけつけました。通勤途中や通学途中のみなさん等に配布しましたが、お忙しいところを足を止めて、快く受けとってご覧くださいました。



まだ夏は始まったばかりです！普段からの健康管理に気を付け、熱中症にならないようしっかり予防しましょう。

(参考資料)

[STOP！熱中症クールワークキャンペーン](#) [pdf 形式：410KB]

[熱中症は予防が大事](#) [pdf 形式：1MB]

[全国安全週間労働局長動画](#) (YouTube)